

2020年(令和2年)10月28日(水)

米の名は「ゆめみしま」

三島の新ブランド 品種名決まる



「ゆめみしま」を試食する人たち＝三島市本町で

三島市のNPO法人
グラウンドワーク三島
(GW三島)は試験栽
培中の三島産の新たな
ブランド米の品種名を
「ゆめみしま」に決め
た。農林水産省に産地
品種銘柄の登録申請を
する。

07件の応募があっ
た。「ゆめみしま」は
沼津市の内田朋子さん
と、京都府木津川市の
林智代さん(44)がそれ
ぞれ考案。内田さんは
「素晴らしい米ができ
ることを夢にまで見
て、完成した三島米」
という意味を込め、林
さんは「蛸舞う幻想的
な三島の清流で生まれ
た米」をイメージして

名付けたという。
ゆめみしまは日本た
ばこ産業(JT)植物
イノベーションセンタ
ー(磐田市)が199
0年から育成した「い
わた12号」。JTは2
003年に米の品種開
発事業から撤退し、米
は冷蔵庫で眠っていた
が、GW三島などが18
年から試験栽培を行っ
ていた。試食会の参加
者からは「さらっとし
ておいしい」「粒が大
きい」などの声が上が
った。

育成に携わったJT
の沼沢広宣・主任研究
員は「悔しい思いをし
てお蔵入りになったお
米が一般の方に食べて
もらえるようになれば
ありがたい」と話した。

【石川宏】